

評価項目	評価事項	配点	基本点数	調整係数												
		①×②	①	②												
1 事業者の適格性(実績) 【様式3】	<p>・公募型プロポーザル説明書3(6)に示す参加要件資格を満たす契約実績(複数ある場合はいずれか1件)に対して、8点(契約金額が24,620千円以上の場合にはさらに1点を加算)を与え、その他の契約実績(最大2件)について、以下のとおり採点する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>契約の相手方</th> <th>契約金額</th> <th>点数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">国又は地方公共団体(国又は地方公共団体が設立する独立行政法人も含む。)</td> <td>24,620千円以上</td> <td>3点</td> </tr> <tr> <td>24,620千円未満</td> <td rowspan="2">2点</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">上記以外</td> <td>24,620千円以上</td> <td rowspan="2">1点</td> </tr> <tr> <td>24,620千円未満</td> </tr> </tbody> </table>	契約の相手方	契約金額	点数	国又は地方公共団体(国又は地方公共団体が設立する独立行政法人も含む。)	24,620千円以上	3点	24,620千円未満	2点	上記以外	24,620千円以上	1点	24,620千円未満	15点		
契約の相手方	契約金額	点数														
国又は地方公共団体(国又は地方公共団体が設立する独立行政法人も含む。)	24,620千円以上	3点														
	24,620千円未満	2点														
上記以外	24,620千円以上		1点													
	24,620千円未満															
2 事業者の適格性(人員体制) 【様式5-1, 5-2, 5-3, 5-4】	<p>・総括責任者・専門職は、本業務を効果的に実施するための資格・経験等を十分に有しているか。 ・担当者を含めた人員配置は、本業務を実行する上で十分か。</p>	15点	5点	3.0												
3 実施する調査・分析等 業務の適切性 【様式6】	①現状の理解度	20点	5点	4.0												
	次期構想策定に関する国の検討状況・方向性を的確に踏まえた上で、県の医療提供体制の現状を分析し、将来を見据えた課題について論理的に整理・提案できているか。															
	②活用するデータの妥当性	20点	5点	4.0												
	分析に用いようとするデータは、県の現状分析及び課題抽出に適したものであるとともに、構想区域の見直しの要否や方向性を検討する観点から、適切かつ効果的に選定されているか。															
③検討手法の妥当性・実現性	20点	5点	4.0													
課題や方向性の検討手法について、データの特性や分析上の留意点を踏まえた適切な方法が示されており、当該分析を適切に実施できる専門的知見及び実績に基づいた、実現性の高い提案となっているか。																
4 経費の妥当性 【様式7】	<p>・評価点数は、次の式により求める。 評価点数=10点×(最も安価な見積額÷当該提案者が提示する見積額) (小数点以下切り捨て)</p>	10点														
合 計		100点														

○採点は5点満点とし、提案内容の評価結果により、次の5段階で行う。
(優れている：5点、やや優れている：4点、普通：3点、やや劣る：2点、劣る：1点)
なお、評価は絶対評価とする。

○採点方法は、上記項目ごとに合計100点満点で評価を実施する。